

## 授業方法について独自に工夫していること 【創造科学系】

学生間の交流を促進するために、普段話さないであろう者とペアを組んで、運動をする機会を演出した。初年次であることから、学ぶ姿勢をもたせること、教員となる上で相手の気持ちを汲むことの重要性などについて理解させるため、いくつかの場合、指導者側、学習者側それぞれがどのように感じるであろうかを理解させようとした。

スマートフォン及びPC両方から利用できる学習管理システム「Edmodo」を使い、資料の提示と、毎回のノート提出とその採点、コメントなどに利用しました。また、授業は「リベラルアーツ科目」であることを意識し、受講生の皆さんに、ものづくりに関連する多様な教養についての話題を提供し、教室内を歩きながら順に回答をしていただきつつ進める、双方向の意見交換ができる授業を行いました。

コミュニケーションがテーマとなっている授業科目でしたので、グループでの活動が主になるようにしました。しかし、実技の種目は行われることが多いですので、独自とは言えないと思っています。

学生らとのコミュニケーションをたくさん取るように心掛けている。

基礎技術獲得の重要性を踏まえた上で、現在スポーツ指導では主流となっているGame based approachを取り入れ、ゲームを中心に授業を展開し、ゲームを行うことでチームごとに課題を見つけその解決をチーム内で行った。

もともとの技術レベルに個人差が大きいため、同程度のレベルの学生同士で取り組む場合と、レベルに差がある学生同士で取り組む場合と、課題に応じて分けています。グループごとに活動記録シートを用意して、授業開始時に目標を確認し、練習内容や試合結果を振り返るようにしています。